一般会計

新年度予算にもられた事業の、主なものについて、市長は、第一面掲載の施政方針の大綱をのべ、更に各科目毎に、大略次のような説明をしました。

消防

◎消防施設の強化

数度の火災経験により、財政困難な折柄ではありますが、消防諸施設強化のために、かなりな比重で予算の計上をしました。

補助事業によるものとしては、無線機二台、防火貯水槽五ヶ所（新市域に設置）水防倉庫一ヶ所、自動車ポンプ二台（四、五分団用）があります。又可搬式小型トウハッポンプは、補助事業で三台、単独事業で六台、計九台を購入、新市域へ配置する予定であります。又災害復旧事業の一環として、一丁目消防分遣所の新設があります。これは従来の消防活動の経験等から、一丁目へ分遣所を置くことが有利であると考えるからであります。

直営（失対策事業）による市道の舗装、

社会労働施設！

直営（失対事業）による市道の舗装

舗装工事の現在請負単価は、一平方米一千五百円でありますので、限られた予算でこれをなすには、直営でするしか方法がないと考えます。

大体の骨子としては、砂利採取機で骨材をとり、失業対策の労力を用い道路側の人には、自分家の間口分だけのセメントを出してもらい、市でもつて舗装するという方式をとりたいと考えております。

◎釈迦内保育所の新設

これまで、民間有志で行なわれておりました釈迦内保育園をやめて、市営の保育所を新設したいと思つております。

◎養老院の修築

昨年の大火によつて、一部焼失した養老院の復旧修築費として、二百九十一万円を計上してあります。

◎公営住宅

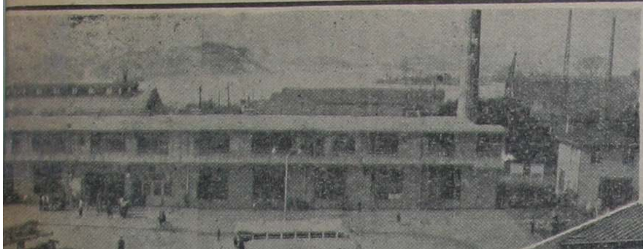
木造と簡易耐火構造の枠がありましたので、一応その枠での建設費二千百七十四万円を計上しました。しかし実際の建設は、先般上京の際に建設省と話しあいをいたしまして、大体三十二戸程度の、中層耐火構造に変更いたしたい考えであります。

日本で最初の災害公営住宅

四階建アパート工事が始まりました。

現地は、昔からの低地で、地盤が弱く、地耐力は一平方米当り二・五屯よりなかつたのですが防火的見地からいつて最適の場所である為、地盤が弱い点は技術的にこれを解決し、当初の計画通り進めたいとの念願により、建設省に対し猛運動の結果、特殊基礎の補助が認められ、経二五糎、長六米の鉄筋コンクリート杭を一棟に約二〇〇本打ち込む事にした。これによつて一平方米当り一五屯の耐力が出る事になり、この程度の建物には絶対大丈夫と云う計算になる。電力事情が悪い為、昼夜通して連日徹夜作業ですすめております。大体四月十五日迄には杭打完了の見込みであります。

・写真・四階建アパート建設現場



の表玄関（花善ビルより撮影）

れている水路工事現場

産業經済

中小企業者に機械貸与

◎新農村の振興助成

昨年も三百数十万円の補助を出しておりましたが、今年もそれに従つて、第二年度を継続していくことにしました。本年の総事業費は八百一万円で、これに対し三百十七万円の補助を計上しました。対象は、市の北部地区（大館、長木釈迦内の三地区）であつて草資源開発整備（一三〇万円）土地改良（一〇〇万円）水田裏作推進モデル施設（六〇万円）共同作業所（八八万円）生活改善施設（七〇万円）農業放送施設（一四六万円）牧野改良造成（二〇七万円）といつた事業内容を予定しており、外に、県とタイアップして、乳牛の導入サイロの設置については、補助金を出すこととしたいと考えております。

◎肥料の配合機を購入

市内全農家で使うところの肥料の総額は、莫大な額にのぼつておりますが、この肥料の全部がいわゆる配合肥料です。これを各地区の土壌を検査して、それにあつた肥料を調合使用するようにしたい。これによつて、肥料単価を約一割三分程安くすることができると共に、肥料効果の増大も期待されるのであります。

◎病虫害の発生防除

昨年度実施した結果、非常に効果をあげておりますので、今年度においても、継続実施することにしたいと考えております。

◎土地改良地区の調査設計

合併による新市建設の最大眼目は、農業経営の合理化にあるわけですが、この合理化の基盤は、実に土地改良事業であると考えます。

しかし市の限られた予算では、全部の事業に補助するということはできない。それで、市に土地改良事業の促進に必要な農業土木技術者、測量諸機械等をそなえ、要求のある個所については、積極的にこれを指導し、工事に必要な調査設計までを、引受けるということにしたいと考えております。

現在、大館市における土地改良事業は、三千万円であり、来年度は約六千万円の事業量でありますが、一応事業量のめやすを、かたくみて三千万円としております。

◎森林資源の造成と経営の合理化

経済綜合調査の林業部門の結論にそつて、国有林への他力依存の弊をあらためて民有林等の振興をはかり、自力自存林業の実をあげることを最終目的としています。本年度はまず、市有林三十町歩の新植と撫育、補植等、造林事業費約百四十五万円を計画しております。このほかに、森林業経営合理化を強力にそくしんするため七十五万円を計上してあります。

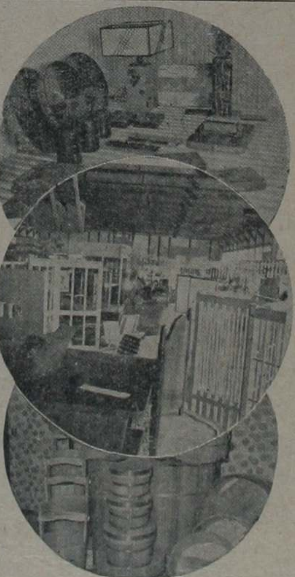
ほかに入会地の調査をして、その実態をしらべ、林野の多角経営化を促進することにしています。

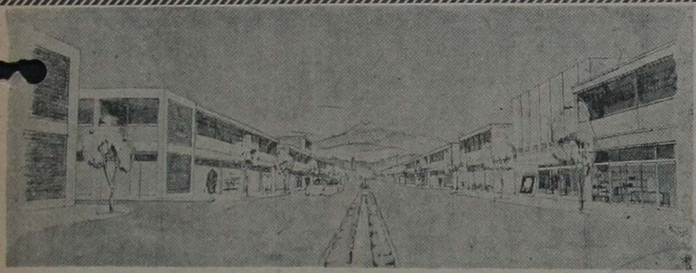
◎杉苗木の赤枯病防止

当市の林業としては、苗木の生産移出が最たるものであると考えます。この生産を助長し、順調に発展させるために、赤枯病の防除措置がどうしても必要であると考えられます。

◎機械貸与と信用保証協会出資金の増額

多年の懸案でありました機械貸与のため、予算五十六万円を計上しました。又市内中小企業者の金融の円滑化をさらに増進するため県信用保証協会に新たに、五十万円を出資し、その利用枠の拡大をはかることにしました。





建物の[illegible]面にガラスを多くつかつた場合。（カジ町からみた大町）

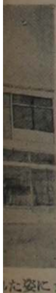
新生する都心商店街

防火建築帯全体構想図なる！

市では不燃都市への大火復興の早期実現を期して、建設課内に防火帯建築促進事務所を設け、日夜防火帯居住者の全面的指導にあたつていますが、市百年の大計から延長二千米におよぶ防火帯に建てる建物についてかねて、仮換地案に基き、建築主より建築設計計画の希望を取纏め、更に都市計画等のあらゆる角度から検討を加え市役所庁舎を設計工事監理した信建築設計事務所山本勝己氏を煩わして防火建築帯全体構想図を完成しました。この構想図は片町のような均一連続店舗ではなくあくまでも個人個人の設計計画及資金計画の範囲内で、二階を希望する人は二階、三階又は四階と自由であり、更に又外観色彩、広告等の点もあくまで自由とし、それらを綜合調整したうえそれを防火帯全体としての美的観点からみても統一された立派なものにしたいというのがねらいであります。尚この全体構想図を基礎とし、個人個人の希望計画を再検討し高さ、外観、色彩等の点にわたり協定を結び建築主個人毎の設計計画をも更に推し進めたいと考えております。

商店街の中の銀行など（たとえば、羽後銀行が六階になつていますが、これは羽銀が六階にするときまつたのではありません。）高層建造物の場合は、街全体の雰囲気に調和したものにすることを想定して表現したのであります。

……山本先生の説明から……



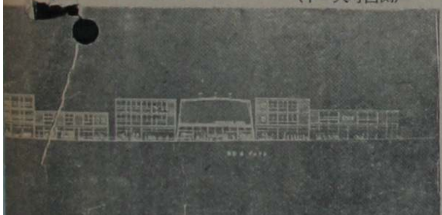
左上＝統一された計画にも美しさと明るさを発揮する仲見世防火建築帯

右上＝明るく広い街路をはさんで両側に建ち並ぶ明るい店舗併用住宅

左下＝旧い面影の一片すら残らぬ明るく美しい近代都市

た姿にまとめたのであります。これ

ことを意図したのであります。

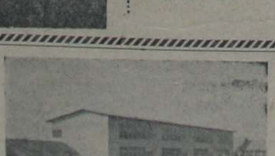


（上＝大町東側　下＝大町西側）

校舎の増改築工事

釈迦内小学校の四教室百二十三坪の改築、一中の四教室百八坪の増築、二井田中学校屋内体操場の新築七十一坪、尚、二井田中学校の屋体完成で、一応市内全校の体育館は完成ということになります。又川口小学校の改築二百十一坪（五百五十七万円）によつて、同校の改築事業は完成することとなります。

外に、成章中学校の屋内体操場、二井田中学校の校舎、長木中学校の屋内体操場、一中の渡り廊下という予算は、すべて単年度義務負担で建てても、数年に亘つて償却するものであります。



保健衛生

清掃三輪車購入

三輪車が老朽化したので前部牽引車分をとりかえることにしました。

その他の主なものとして、納税貯蓄組合の結成促進のため、必要な諸経費を、昨年にくらべて、かなり増額して予算化しました。

土地改良区（大館）に関係のある土地造成費として四百十一万円を予算計上しました。